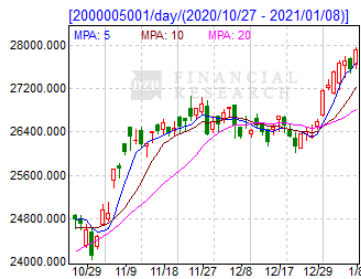


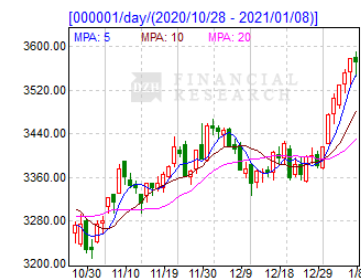


## 【指数日足チャート】

### ▼ハンセン指数



### ▼上海総合指数



## 【主要株価指数】

|               | 週末終値      | 前日比    | 変化率 (%) | 週間騰落率 (%) | 年初来騰落率 (%) | 20年末株価    |
|---------------|-----------|--------|---------|-----------|------------|-----------|
| NYダウ          | 31,097.97 | 56.84  | 0.18    | 1.61      | 1.61       | 30,606.48 |
| NASDAQ        | 13,201.98 | 134.50 | 1.03    | 2.43      | 2.43       | 12,888.28 |
| 日経225         | 28,139.03 | 648.90 | 2.36    | 2.53      | 2.53       | 27,444.17 |
| 上海総合          | 3,570.11  | -6.10  | -0.17   | 2.79      | 2.79       | 3,473.07  |
| 滬深300(CSI300) | 5,495.43  | -18.23 | -0.33   | 5.45      | 5.45       | 5,211.29  |
| ハンセン          | 27,878.22 | 329.70 | 1.20    | 2.38      | 2.38       | 27,231.13 |
| 中国企業          | 10,955.55 | 158.82 | 1.47    | 2.02      | 2.02       | 10,738.40 |

## 【株式概況】

### 先週の動き:ハンセン指数は2.4%高と続伸、上海総合指数は2.8%高

香港市場ではハンセン指数が週間で2.4%高と続伸した。好調な海外市場を背景に総じて堅調に推移。米政府による中国企業排除の動きが嫌気されたものの、低金利環境下での株高期待や米国の政権移行に伴う追加経済対策期待が相場を支え、週末8日には終値で約10カ月半ぶりの高値をつけた。本土市場では上海総合指数が週間で2.8%高と4週続伸した。世界経済の正常化期待や人民元高を受けた資金流入期待などを背景に節目の3500ポイント台を回復。本土市場全体の売買代金も連日で1兆円を超える大商いとなった。

### 今週の展望:香港市場は一進一退の展開か、利益確定売りで短期調整も

香港市場は一進一退の展開か。次期バイデン政権への期待などを背景にNY市場が過去最高値を更新するなど好調な海外市場は香港市場にとっても追い風だが、足元の上昇を受けて利益確定売りも出やすくなっている。中国で河北省を中心に再び新型コロナの感染が増えているほか、NY証取が中国通信3社の上場を廃止するなど中国企業締め出しの動きが強まっていることも警戒されそう。本土市場も人民元高や政策期待などを背景に相場の先高観は根強いものの、足元の上昇が急だっただけにスピード調整が予想される。

## 先週のハンセン騰落ランキング

### ▼騰落率上位

|                  | 週末終値 (HK\$) | 騰落率 (%) |
|------------------|-------------|---------|
| 1 吉利汽車(00175)    | 33.25       | 25.47   |
| 2 舜宇光学科技(02382)  | 189.10      | 11.43   |
| 3 ハンセン銀行(00011)  | 147.50      | 10.32   |
| 4 中国蒙牛乳業(02319)  | 51.30       | 9.62    |
| 5 創科実業(00669)    | 120.10      | 8.59    |
| 6 シバック(00386)    | 3.76        | 8.36    |
| 7 中銀香港(02388)    | 25.40       | 8.09    |
| 8 美团(03690)      | 318.00      | 7.94    |
| 9 新鴻基地産(00016)   | 107.20      | 7.20    |
| 10 安踏体育用品(02020) | 131.20      | 6.75    |

### ▼騰落率下位

|                    | 週末終値 (HK\$) | 騰落率 (%) |
|--------------------|-------------|---------|
| 1 薬明生物技術(02269)    | 95.00       | -7.59   |
| 2 中国海外発展(00688)    | 15.62       | -7.35   |
| 3 チャイナ・モバイル(00941) | 41.50       | -6.11   |
| 4 碧桂園(02007)       | 10.16       | -5.22   |
| 5 華潤置地(01109)      | 30.70       | -4.06   |
| 6 小米集団(01810)      | 31.95       | -3.77   |
| 7 アリババ集団(09988)    | 224.20      | -3.61   |
| 8 サズ・チャイナ(01928)   | 33.00       | -3.08   |
| 9 中国工商银行(01398)    | 4.96        | -1.39   |
| 10 電能実業(00006)     | 41.55       | -1.07   |

## ▼今週の主なイベント

- 1月14日(木)
  - 【中国】貿易統計(12月)
  - 1月15日(金)
    - 【中国】全国70都市不動産価格(12月)

### ▼今週の期待材料

- ◆NY市場で主要3指数が過去最高値を更新、「トリプルブルー」でバイデン次期政権の政策運営に期待高まる
- ◆中国で新エネルギー車の販売が拡大、乗用車市場情報联席会発表の12月の販売台数は58%増の20.6万台
- ◆香港市場で売買代金が連日で2000億HKドル超の大商い、本土市場の売買代金も1兆円超と活況続く

### ▼今週の懸念材料

- ◆世界の新型コロナ新規感染者数が引き続き拡大、中国では河北省石家荘で9日から都市封鎖を実施
- ◆NY証券取引所が中国通信キャリア3社のADRを11日付で上場廃止に、中国軍関連銘柄への投資も制限
- ◆中国政府が巨大ネット企業への規制を強化へ、先行きへの警戒感がくすぶる可能性も

## 【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 吉利汽車(00175): 親会社が百度と戦略提携、自動運転EVを共同開発
- ☆ 香港証券取引所(00388): 香港市場が連日で大商い、有力企業の上場も続く公算
- ☆ BYD(01211): コロンビアのトランスミレニオ社から電気バス596台を追加受注
- ☆ 周大福珠寶(01929): 20年10-12月の小売売上高が中国本土のけん引で18%増加
- ★ 裕元工業(00551): 12月の純売上高が6%減少、1-12月は16%減
- ★ CNOOC(00883): 米財務省外国資産管理局が中国軍関連企業のリストに指定
- ★ チャイナ・テレコム(00728): NY証取が11日付で同社ADRの上場を廃止
- ★ チャイナ・ユニコム(00762): NY証取が11日付で同社ADRの上場を廃止
- ★ チャイナ・モバイル(00941): NY証取が11日付で同社ADRの上場を廃止
- ★ Qテクノロジー(01478): 12月のカメラモジュール出荷量が1%減少

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。